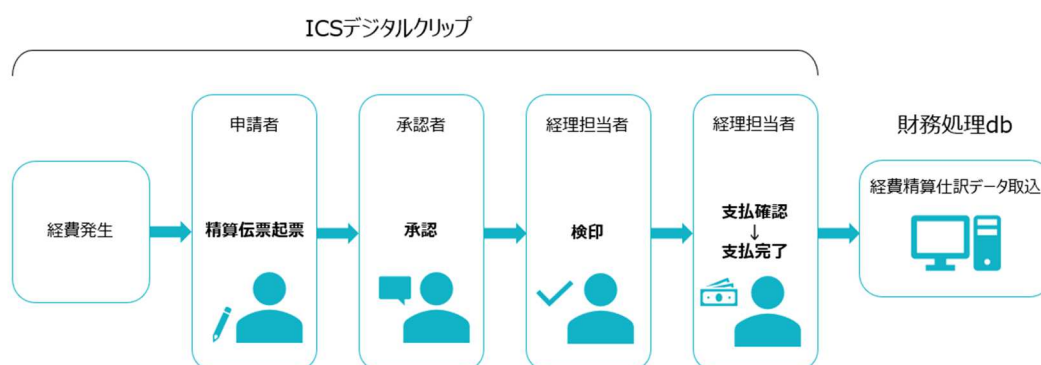


- 経理上手くんa VERSION:14.201
- 経理上手くんaクラウド・経理上手くんaクラウド SE VERSION:14.201

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

#### ◆ ICSデジタルクリップ 新規リリース

- 「ICS デジタルクリップ」は、顧問先の経費精算業務のDX化と効率化を後押しする経費精算システムとなっており、経費精算登録を行ったデータを、「財務処理 db」及び「経理上手くんa」にて取り込みを行うことで、自動で仕訳データを作成することが可能な製品となっています。  
※ 「ICS デジタルクリップ」は「Spendia」をICS連携用にカスタマイズしたシステムで行います。  
**「ICS デジタルクリップ」のご利用には別途お申込みが必要です。**



#### ◆ 財務処理db／経理上手くんa

- 登録・入力に「経費精算仕訳データ取込」を新規対応しました。
  - ・経費精算データを仕訳データとして取り込む業務となります。
  - ・対応業種は【法人・個人・病院・建設】のみとなります。
  - ・処理を行うマスターは「部門入力：行う」に設定し、明細部門の登録があるマスターのみとなります。

※詳細は、次ページからの“財務処理db（VERSION: 14.201）の変更点”を参照してください。

#### ご注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りが行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

# 財務処理db (VERSION:14.201) の変更点

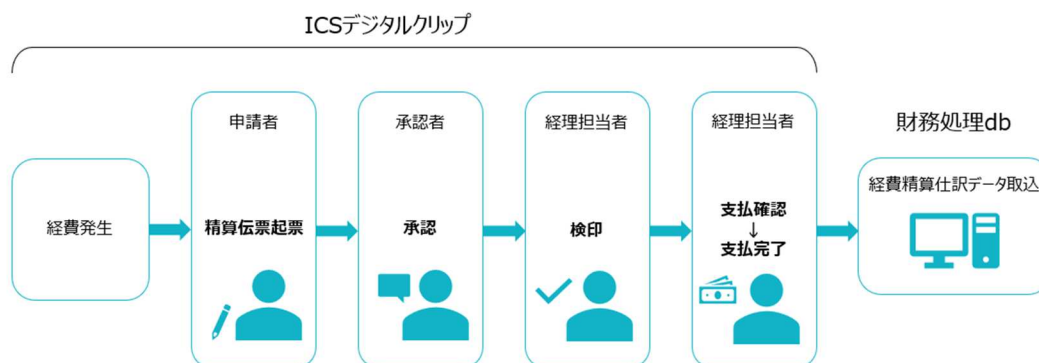
## ICS デジタルクリップ 新規リリース

### I. 概要

「ICS デジタルクリップ」は、顧問先様の経費精算業務のDX化と効率化を後押しする経費精算システムとなっており、経費精算登録を行ったデータを、「財務処理db」及び「経理上手くんa」にて取り込みを行うことで、自動で仕訳データを作成することが可能な製品となっています。

※「ICS デジタルクリップ」は「Spendia」をICS連携用にカスタマイズしたシステムで行います。

※「ICS デジタルクリップ」のご利用には別途お申込みが必要です。



### II. システム対応

#### 1) 財務処理db/経理上手くんa

- ①登録・入力に「経費精算仕訳データ取込」を新規対応しました。
  - ・経費精算データを仕訳データとして取り込む業務となります。
  - ・対応業種は【法人・個人・病院・建設】のみとなります。
  - ・処理を行うマスターは「部門入力：行う」に設定し、明細部門の登録があるマスターのみとなります。



- ※ ICS デジタルクリップと連携したマスターのみ「経費精算仕訳データ」取込が行えます。
- ※ お申込み後、次ページの初期設定を行ってください。
- ※ 経理上手くんaとICS デジタルクリップを連携した場合、顧問先様で「経費精算仕訳データ取込」を行ってください。会計事務所様におかれましては、クラウド共有又は通信・移動業務にて仕訳データを取得してください。

### Ⅲ. 初期設定

ICS デジタルクリップをご利用いただくにあたっては、ICSweb サービスアカウントのパスワード変更及び ICSweb サービス認証キーの取得を行っていただく必要があります。

#### 1) ICSweb サービスアカウントのログインパスワードの設定

- ① サービス利用開始日に、お申し込み時に申請したメールアドレス宛に「ICSweb サービスアカウント登録完了」のメールが届きます。



- ② パスワード設定用の URL が記載されているので、そこからアクセスしてパスワードを設定してください。

パスワードは英大文字/英小文字/数字混合・8 桁以上 32 桁以下で設定してください。

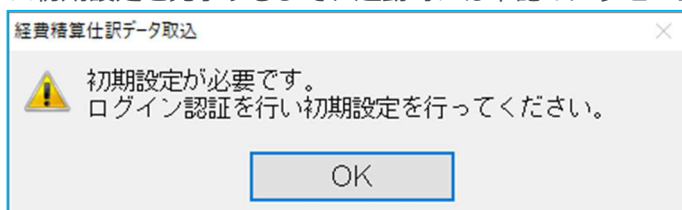


- ③ 設定が完了すると、パスワード変更完了通知が届きます。



#### 2) ICSweb サービス認証キーの取得

- ① 経費精算仕訳データ取込を起動すると、初回起動時に下記メッセージが表示されます。OK を押すとブラウザが立ち上がり初期設定画面に移ります。  
※初期設定を完了するまで、起動時には下記のメッセージを表示します。



②表示された初期設定画面で、ICSweb サービスアカウントと①で設定したパスワードを入力し、ログインを行うことで、認証コードが記載されたメールがお申し込み時に申請したメールアドレスに送信され、認証コード入力画面に移ります。

認証コード入力画面で送られてきた認証コードの入力を行ってください。

※「ICSweb サービスアカウント」は ICS デジタルクリップお申し込み時に申請したメールアドレスになります。

③認証コードの入力を行うと、ICSweb サービス認証キー取得画面が表示されるので、取得ボタンを押し、表示されるポップアップから「開く」を選択してください。

これで ICSweb サービス認証キーが取得され、初期設定が完了となります。

ブラウザを終了して ICS 業務に戻ります。

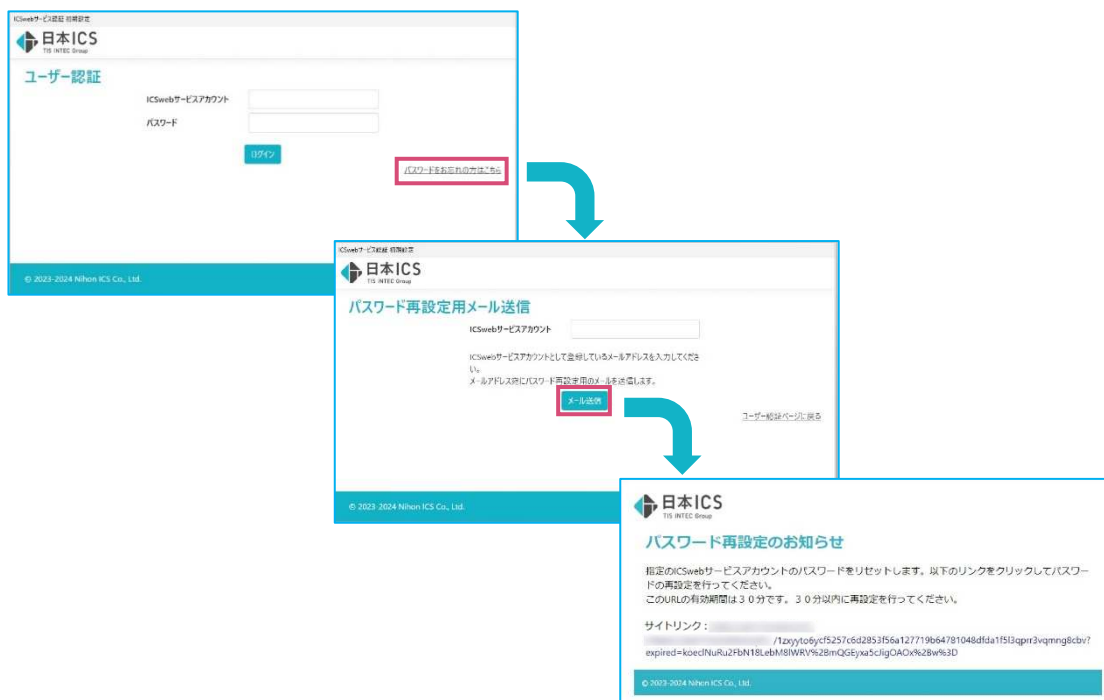
※ポップアップ表示はご使用のブラウザによって異なります。

※設定したパスワードを忘れてしまった場合について

ユーザー認証画面の「パスワードをお忘れの方はこちら」を選択します。

表示される画面に ICsweb サービスアカウントとして登録しているメールアドレスを入力、メール送信ボタン押下で入力したメールアドレスにパスワード再設定用のメールが届きます。

パスワード再設定用のメールにリンクが記載されているので、そのリンクから再設定を行ってください。（メールに記載の URL の有効時間は 30 分となりますのでご注意ください。）



### 3) ICS マスター連携

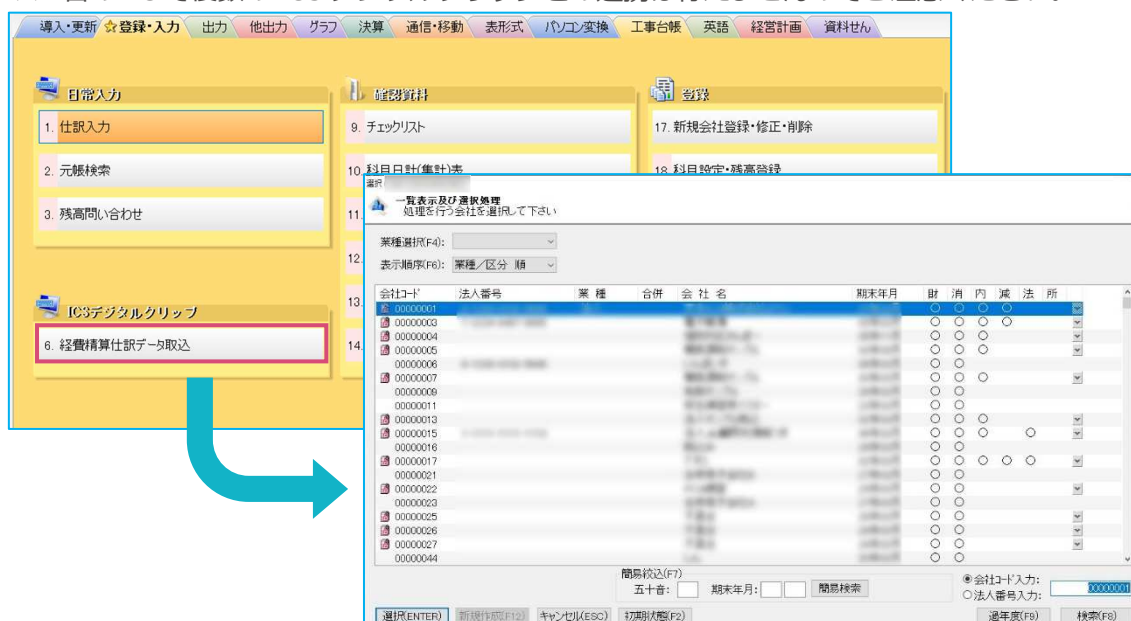
①経費精算仕訳データ取込を開き、ICS デジタルクリップと連携を行うマスターを選択します。

マスターを選択することで、連携が完了します。

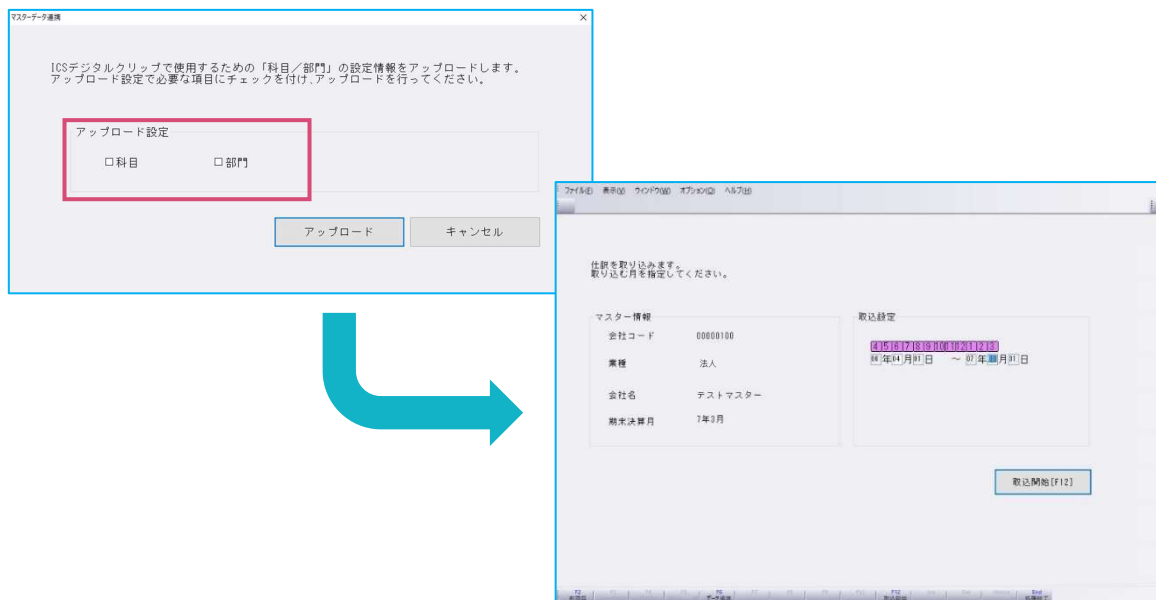
新規会社登録・修正・削除にて「部門入力：行う」に設定しているマスターのみ処理が行える為、会社選択画面にも「部門入力：行う」に設定しているマスターのみ表示します。

また、処理できるのは 1 つの ICS 環境につき 1 マスターとなっています。

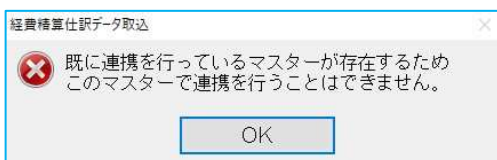
※1 台の PC で複数の ICS デジタルクリップとの連携は行えませんのでご注意ください。



- ②マスターを選択すると、初回起動時のみ下記のアップロード設定画面が表示されます。
- 「科目」「部門」「工事」の項目にチェックを付けて、アップロードを行うことで、マスターの各項目の登録内容をICSデジタルクリップにアップロードすることができます。
- アップロードすることで、マスターで設定している各項目をICSデジタルクリップで使用することが可能となります。
- アップロード又はキャンセルを選択すると、実際にデータの取り込みを行う業務画面が表示されます。
- ※2回目以降の起動時は業務画面が直接表示されるようになります。
- 再度、アップロードを行いたい場合は[F6 データ連携]より行ってください。
- ※「部門」「工事」に関してはマスターの設定によって表示の有無が変わります。



※連携マスター以外のマスターを業務起動時に選択した場合、下記のエラーメッセージが表示されます。

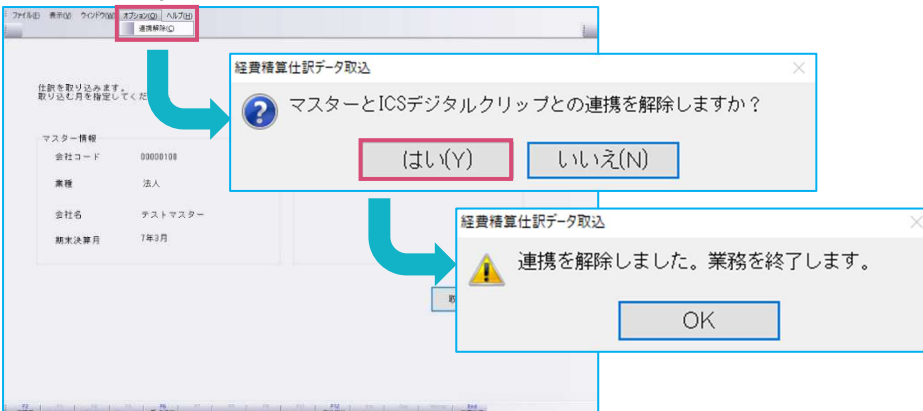


※連携を解除する場合

初回マスター選択時に誤ったマスターを選択した等により、マスターの連携を解除したい場合は、オプションの「連携解除」を行ってください。

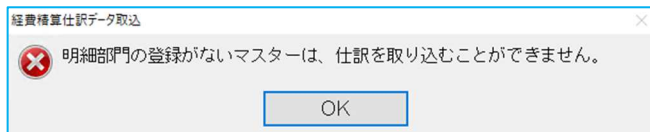
「連携解除」を行うと、メッセージが表示されるので「はい」を選択することで連携の解除が行われ、業務を終了します。

解除後は、3)①のマスター連携から正しいマスターの選択を行ってください。

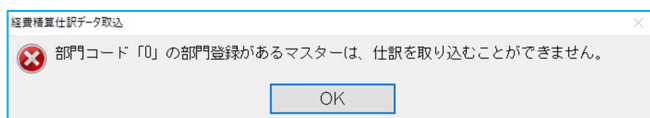


※連携が行えないマスターについて

- ・新規会社登録・修正・削除にて「部門入力：行わない」に設定しているマスターは会社選択に表示されず、当機能を使用できません。
- ・起動時に明細部門の登録を行っていないマスターを選択した場合は、下記のメッセージを表示し、処理を終了します。部門設定で明細部門の登録を行ってください。



- ・起動時に部門コード「0」の部門を登録しているマスターを選択した場合は、下記のメッセージを表示し、処理を終了します。



## IV. 操作方法

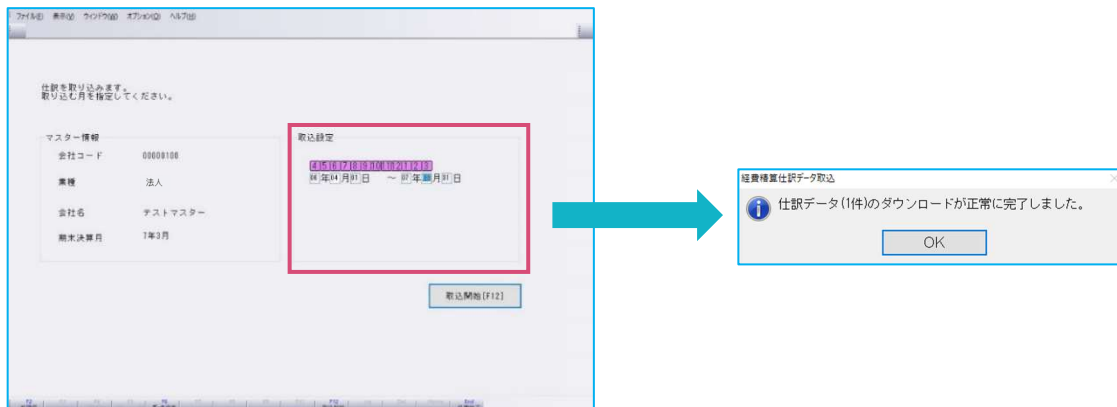
### 1) 経費精算仕訳データ取込

#### ①仕訳データ取込方法

ICS デジタルクリップから取り込む仕訳の月を「取込設定」から指定し、「取込開始」ボタン押下で取り込みを開始します。

取り込みが完了するとメッセージが表示され、取り込みを行った仕訳件数を確認できます。

※取り込むデータの指定方法は月指定のみとなっており、ICS デジタルクリップ側の伝票を指定して取り込むことはできませんので、ご注意ください。



#### ②仕訳データ取込により作成される仕訳について

(1)ICS デジタルクリップ側の伝票ごとに下記状態の仕訳を作成します。

- ・費用と支払は別仕訳として作成します。（仕訳例は後述(2)を参照ください。）
- ・作成される仕訳の日付は、経費仕訳、支払仕訳ともに ICS デジタルクリップ側で精算伝票作成時に入力した「発生日」となります。
- ・経費仕訳の科目は、ICS デジタルクリップ側で精算伝票作成時に指定した「費目」を参照し、該当する科目で作成します。
- ・支払仕訳の科目は、ICS デジタルクリップ側で支払方法を「振込」とした場合でも、ICS で仕訳作成時には「現金」の科目で作成を行います。
- ・経費仕訳、支払仕訳ともに相手科目は「未払金」になります。
- ・作成される仕訳の勘定科目は、ICS 標準の科目の内部コードを参照して変換を行っています。科目名の変更等を行っている場合は、想定されている科目と別の科目で仕訳が作成されることがありますので、ご注意ください。
- ・経費仕訳が課税仕訳だった場合の税区分はすべて「内税」になります。
- ・支払仕訳の摘要に「経費精算仕訳」と記載されます。

(2)仕訳データ取込時の伝票の状態によって、下記のような仕訳を作成します。

- ・ ICS デジタルクリップ側で伝票の検印が完了すると仕訳データ取込が可能になります。この状態で仕訳データ取込を行うと①のような仕訳が作成されます。
  - ・ ICS デジタルクリップ側で伝票の支払処理を行い「支払済」となった伝票を取り込んだ場合は、②のような仕訳が作成されます。
  - ・ 検印時に取り込まずに、「支払済」まで進んでから仕訳データ取込を行うと③のような仕訳が作成されます。
- ※支払仕訳→経費仕訳の順に作成を行います。（仕訳順の変更不可）

① 検印済で取込（経費仕訳を作成）

6	06.14	00001	旅 費 交 通 費	未 払 金	500	45	内 <sup>10</sup>	
---	-------	-------	-----------	-------	-----	----	-----------------	--

② 支払済で取込（支払仕訳を作成）

6	06.14	00001	未 払 金	現 金	500			経費精算仕訳
---	-------	-------	-------	-----	-----	--	--	--------

③ 検印→支払済になってから取込（経費仕訳、支払仕訳の両方を作成）

7	06.14	00001	未 払 金	現 金	11,000			経費精算仕訳
8	06.14	00001	交 際 費	未 払 金	11,000	1,000	内 <sup>10</sup>	

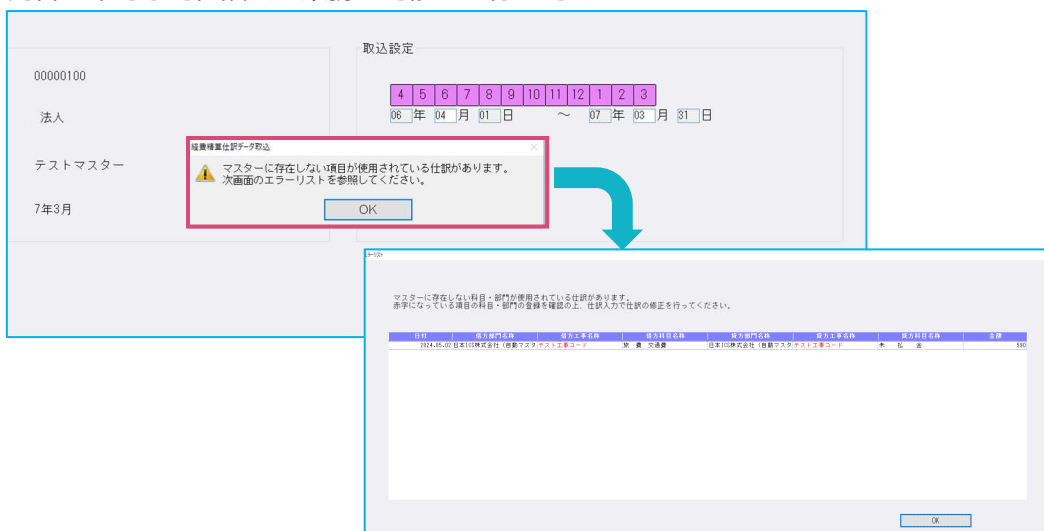
③仕訳データ取込時にエラーがあった場合

- ・ 仕訳データ取込時に ICS 側で登録のない科目・部門・工事があった場合はエラーとなり、下記のメッセージを表示します。

**※エラーが表示されたデータについても ICS 側で仕訳の作成は行われます。**

- ・ 「OK」押下でエラーリストを表示します。

内容を確認して仕訳入力業務にて修正を行ってください。



《注意事項》

**一度、取り込みを行った仕訳データについては、再取り込みを行うことはできません。**  
**作成された仕訳を削除してしまった場合や、エラーが表示された状態で取り込みを行った場合等であっても、再取り込みは行えませんのでご注意ください。**

④証憑データの取り込みについて

- (1)ICS デジタルクリップ側で経費精算を行う際に、伝票に証憑を添付して精算を行った場合、伝票に添付した証憑を関連付けて仕訳を作成することが可能となっています。
- (2)証憑データを取り込む場合は、下記の初期設定が必要になります。
  - ・ ICS デジタルクリップ側の初期設定で「電子帳簿保存法対応機能：利用する」に設定。
  - ・ 財務マスター側の会社登録で「原票イメージ保存：行う」に設定。
- (3)証憑データを含んだ取り込みを行った場合は、下記のように証憑が関連付いている状態の仕訳が作成されます。

9	06.14	00001	未 払 金	現 金	2,200			経費精算仕訳
10	06.14	00001	交 際 費	未 払 金	2,200	200	内 <sup>10</sup>	



⑤ICS デジタルクリップとマスターの連携情報について

- マスターの移動、削除などを行う場合にクラウド上の連携情報については ICS デジタルクリップと連携しているマスターにおいて、操作ごとの連携情報については以下のようになっています。

※一部の操作ではネット接続が必須となっています。

操作	連携情報	ネット接続
移動	ICS デジタルクリップと連携しているという情報は移動しません	不要
複製	ICS デジタルクリップと連携しているという情報は複製しません	不要
リストア	ICS デジタルクリップと連携しているという情報に影響しません	不要
更新	ICS デジタルクリップと連携する時に必要な情報を更新します ※翌期更新等ではなく、連携情報の更新となります	必須
削除	ICS デジタルクリップと連携しているという情報も削除します	必須

●操作ごとの業務対応について

(1)移動・複製

- ・対象業務

「財務マスターネットワーク移動」

「財務マスターコピー」

「マスター&データ抽出」

- ・動作について

ICS デジタルクリップと連携しているマスターの移動・複製を行った場合でも、クラウド上の連携情報の移動・複製は行われません。

- ・ネット接続

クラウド上の連携情報に影響がない為、ネット接続は「不要」となっています。

(2)リストア

- ・対象業務

「バックアップ・リストア」

- ・動作について

リストア時に ICS デジタルクリップと連携済みの同一コードのマスターが登録されている場合、登録されているマスターによって動作が異なります。

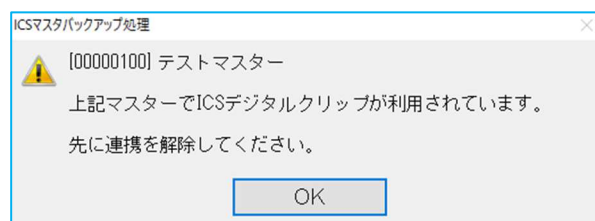
リストア元とリストア先のマスターが同一マスターだった場合

→従来通りリストアを行うことが可能で、連携情報も引き継がれます。

リストア元とリストア先のマスターが異なっている場合

→下記のメッセージが表示され、リストアを行えません。

行いたい場合は先に ICS デジタルクリップとの連携を解除してください。



(3)更新

- ・対象業務

「経費精算仕訳データ取込」

- ・動作について

連携を行うマスターの選択時や [F6 データ連携] を行う際に、クラウド上の連携情報の更新を行います。

- ・ネット接続

クラウド上の連携情報の更新を行う為、ネット接続は「必須」となっています。

#### (4)削除

- ・対象業務

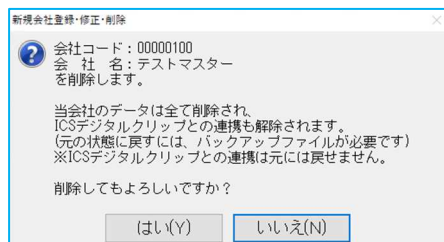
「新規会社登録・修正・削除」

- ・動作について

ICS デジタルクリップと連携しているマスターを削除する際に、クラウド上の連携情報の削除も行います。

連携情報の削除を行うのは、該当マスターのすべての年度・データを削除する場合のみとなっています。

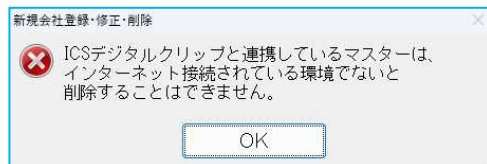
※年度選択画面で過年度のチェックを OFF の状態で削除した場合や、削除対象を「財務データ」とした場合は、連携情報の削除は行いません。



- ・ネット接続

クラウド上の連携情報の削除を行う為、ネット接続は「必須」となっています。

※ネットに接続していない環境では、下記のメッセージを表示して、削除不可となります。



以上